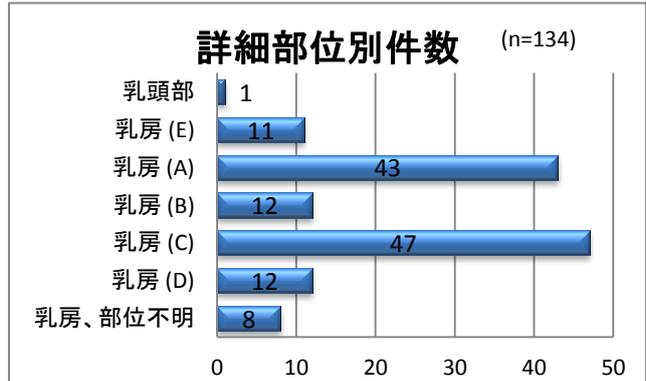
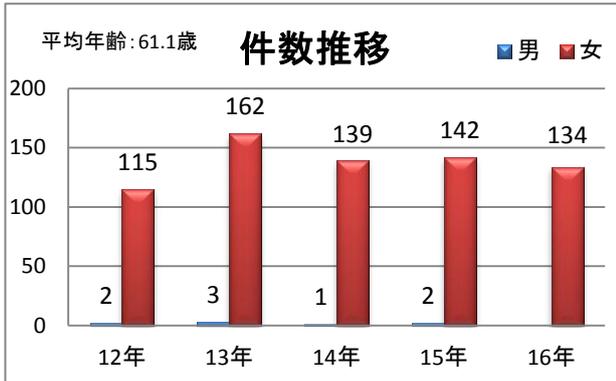
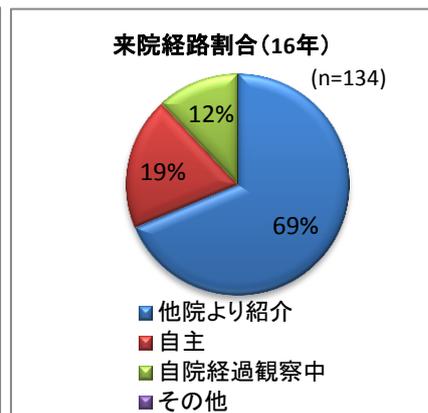
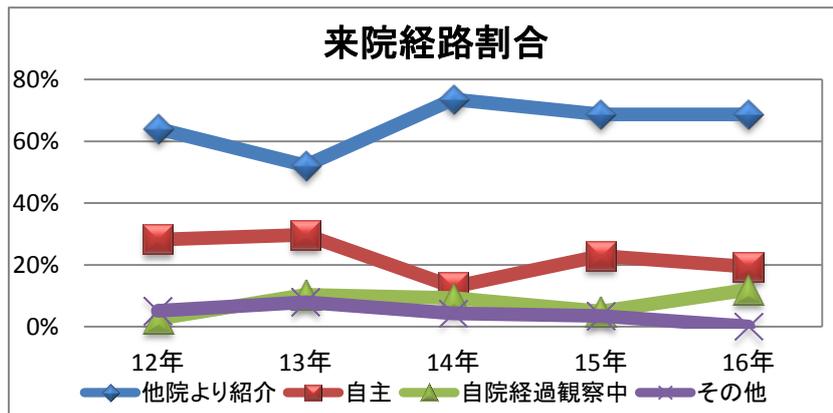


## Ⅱ. 2016年集計＜部位別＞

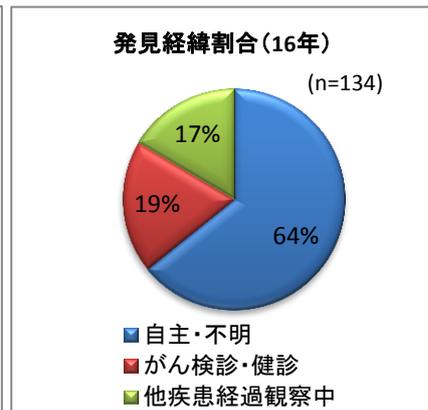
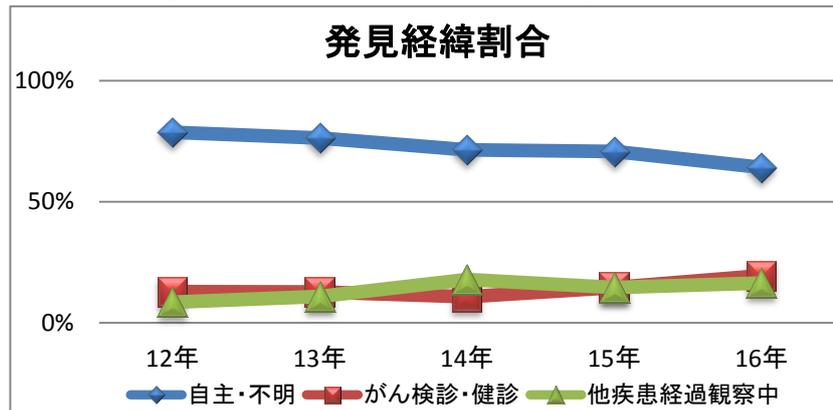
### 4. 乳房



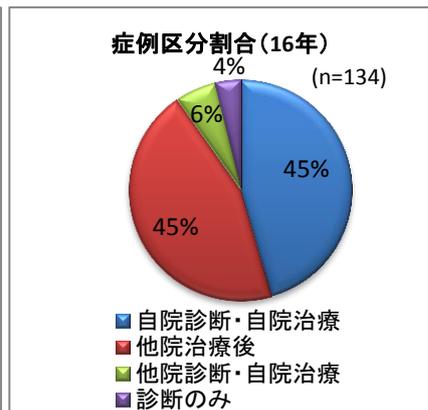
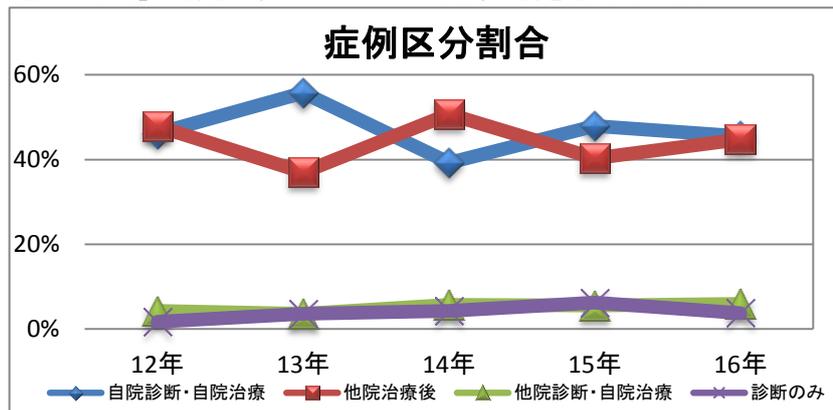
件数推移に変動はみられない。詳細部位別では「A(上内側1/4)領域」と「C(上外側1/4)領域」の件数が多い。



「他院より紹介」の割合が高く、16年単年では約7割を占めている。

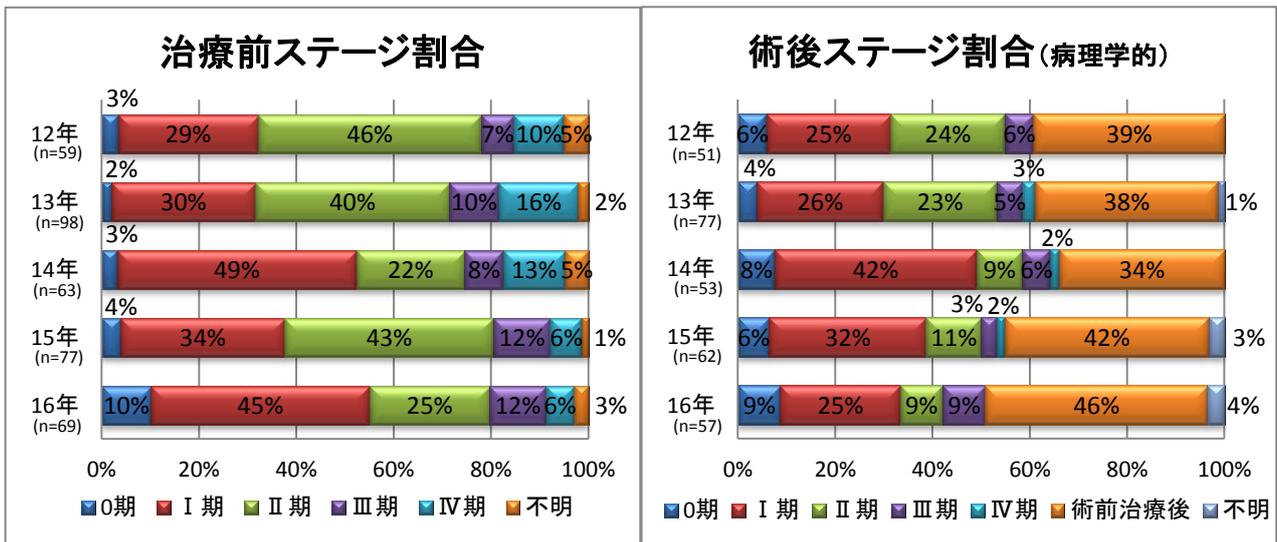


「自主・不明」の割合が高く、16年単年では約6割を占めている。



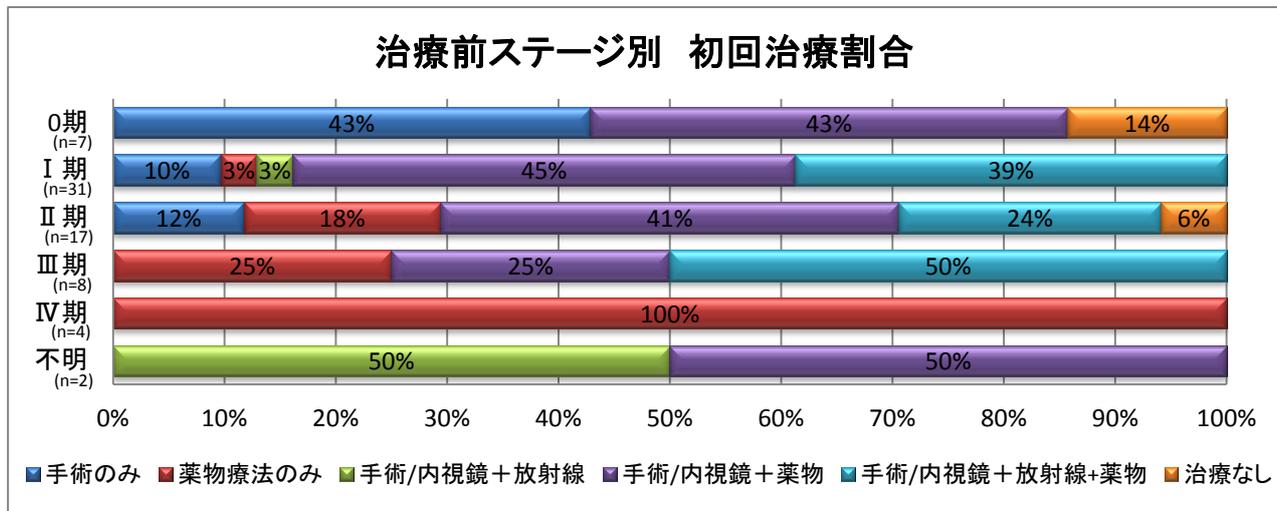
「自院診断・自院治療」と「他院治療後」の割合が高く、16年単年では約5割を占めている。

※「他院治療後」には、他院で手術を行った後、自院で術後の放射線治療を行う症例が含まれる。



治療前ステージは「II期」の割合が増加しており約5割を占めている。術後ステージは「術前治療後」の割合が増加しており約5割を占めている。

※「術前治療後」は、術前に化学療法や内分泌療法で病変を小さくしてから手術する症例が含まれる。



0期からIII期何れも「手術/内視鏡+薬物」の治療が多く、手術と化学療法や内分泌療法を併せて行う症例が含まれている。IV期では全症例が「薬物療法のみ」の治療を行っていた。